平成15年度決算の概要
黒字維持も依然厳しい状況

平成15年度の各会計別歳入・歳出決算状況は、下表のとおりです。

《一般会計》

歳入が1545億4654万円に対し歳出は1539億7722万円で、差し引き5億6932万円の剰余となりましたが、繰越事業費4億3695万円の充当財源として5248万円を翌年度に繰越しているため、実質的には5億1684万円の黒字となりました。

歳入では、市税収入が前年比3・8％の減額となっていますが、扶助費の増額にともなう国庫支出金の増額（前年度比10・3％増）、借換債の発行や臨時財政対策債の増額による市債の増額（前年度比100・3％増）、市の貯金である基金の取崩しなどによる繰入金の増額（前年度比27・5％増）などにより、総額で前年度比2・8％の増額となっています。

一方、歳出では、生活保護費や児童扶養手当などの民生費（前年度比9・4％増）、市債の借換えにともなう元金償還金や復興事業等で発行した市債の元金償還金など公債費（前年度比16・8％増）が増額しており、西宮北口駅北東地区市街地再開発事業の終了などにより土木費（前年度比8・5％減）が減少しているものの、総額では前年度比3・2％の増額となりました。

《特別会計》

13の特別会計の合計で、歳入が987億6588万円に対し歳出は985億3331万円で、差し引き2億3257万円の剰余となりましたが、繰越事業費1776万円を翌年度に繰越しているため、実質的には2億2481万円の黒字となりました。

今後も厳しい市の財政状況

平成15年度は、震災復興事業の完了に向けて取り組むとともに、保育所の待機児童対策や「みやっこキッズパーク」の開設、介護保険事業の充実など子育てや高齢化社会に対応した施策や事業を実施しました。また、「環境学習都市宣言」を行い、地域公共ネットワークを整備するなど、環境・情報化施策を推進しました。

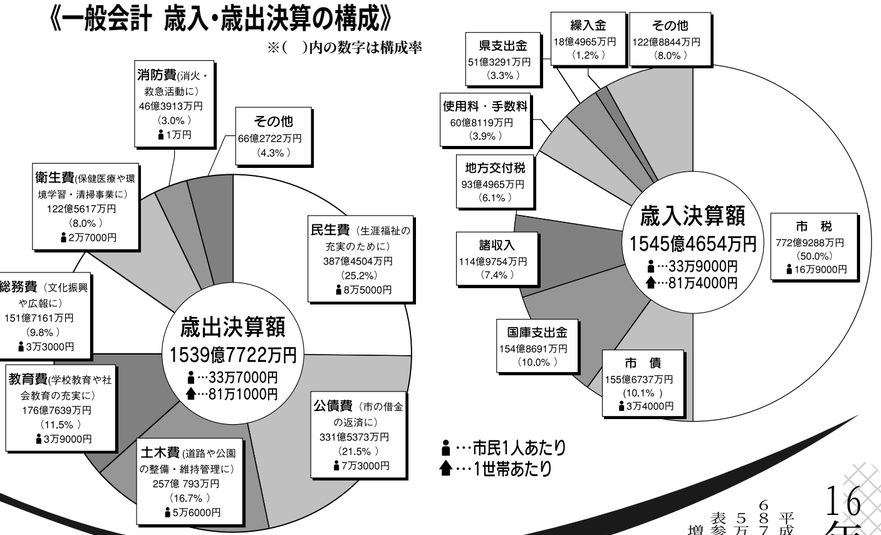
基金の活用や行財政改善による人件費・物件費の削減、予算の効率的な執行により、黒字を維持することができましたが、歳入の根幹である市税収入の減少や市債の元利償還金である公債費が依然高水準であり、扶助費も増加していることなどにより、市の財政は今後も厳しい状況が続きます。

《平成15年度　歳入・歳出決算状況》

区分		歳入決算額 ①	歳出決算額 ②	歳入・歳出差引額 ①－②＝③	翌年度に繰越すべき財源 ④	実質収支額 ③－④
会計						
一般会計		1545億4654万円	1539億7722万円	5億6932万円	5248万円	5億1684万円
特別会計（13会計）		987億6588万円	985億3331万円	2億3257万円	776万円	2億2481万円
主な特別会計	国民健康保険	310億3617万円	310億 491万円	3126万円		3126万円
	食肉センター	4億8992万円	4億8498万円	494万円		494万円
	下水道事業	154億9146万円	154億3611万円	5535万円	450万円	5085万円
	市街地整備事業	3億7967万円	3億2103万円	5864万円	326万円	5538万円
	公共用地買収事業	13億5131万円	13億5091万円	40万円		40万円
	老人保健医療事業	327億7529万円	327億 603万円	6926万円		6926万円
	介護保険	145億1988万円	145億1748万円	240万円		240万円
合計		2533億1242万円	2525億1053万円	8億 189万円	6024万円	7億4165万円

《一般会計　歳入・歳出決算の構成》

※（　）内の数字は構成率



16年度上半期の状況

平成16年9月30日現在における予算額は、一般会計が1687億5773万円、13の特別会計が1032億9765万円、合計2720億5538万円となっています（左表参照）。4月当初の合計予算額から6億9764万円を増額しています。ただし、この額には前年度からの繰越分5億3767万円が含まれているため、実質的には、1億5997万円を補正増したことになります。

また、予算に対する収入および支出の状況については、一般会計で収入48・1％、支出45・1％、特別会計の合計で収入34・2％、支出43・9％となっています。

《予算現額および収入・支出の状況》

（平成16年9月30日現在）

区分		予算現額 ①	収入済額 ②	執行率 ②／①	支出済額 ③	執行率 ③／①
会計						
一般会計		1687億5773万円	812億4715万円	48.1%	760億8097万円	45.1%
特別会計（13会計）		1032億9765万円	353億1164万円	34.2%	453億 713万円	43.9%
主な特別会計	国民健康保険	326億5560万円	112億 286万円	34.3%	148億1729万円	45.4%
	食肉センター	5億2342万円	4568万円	8.7%	2億 702万円	39.6%
	下水道事業	157億5488万円	23億7488万円	15.1%	66億 478万円	41.9%
	市街地整備事業	2億2528万円	5864万円	26.0%	3493万円	15.5%
	公共用地買収事業	15億4963万円	6585万円	4.2%	3億2245万円	20.8%
	老人保健医療事業	325億2192万円	137億2283万円	42.2%	154億8409万円	47.6%
	介護保険	158億7047万円	55億7919万円	35.2%	66億5682万円	41.9%
合計		2720億5538万円	1165億5879万円	42.8%	1213億8810万円	44.62%

市は年2回、財政事情を公表しています。今回は、平成15年度決算と平成16年度上半期（平成16年4月1日～9月30日）の収支状況などの概要を市立中央病院など公営企業の業務状況とあわせてお知らせします。

問合せは財政課（0798・35・3411）へ。

財政分析の資料に

バランスシートを作成しました

市は、企業会計方式による財政分析に取り組んでいますが、このほど、平成15年度決算に基づくバランスシート（貸借対照表。下表参照）を作成しました。また、平成15年度中に提供した行政サービスの状況を表す行政コスト計算書（左下表参照）も作成しましたので、その内容をお知らせします。

《バランスシート》

バランスシートは、資産や負債などのストックの状況を明らかにした財政分析の資料です。発生主義に基づく企業会計方式を取り入れ、現金主義による単年度の収支を対比した現在の会計方式では表示されない内容が盛り込まれています。

本市の場合、総務省が示した統一基準に従い、昭和44年度以降の普通会計における決算統計のデータを使用した簡便法で作成しています。

平成15年度末現在の本市の資産は6943億円（前年度比50億円の減）となっています。内訳は、土地や建物などの有形固定資産が6199億円、出資金や貸付金などの投資等が535億円、現金・預金などの流動資産が209億円となっています。

これに対し、負債は3025億円（前年度比114億円の減）で、資産形成の半分近くを借入金などに頼っていることがわかります。内訳は、地方債などの固定負債が2666億円、流動負債（翌年度償還予定の地方債）が359億円で、地方債の借入残高は固定負債と流動負債を合わせ2568億円となっています。

また、資産から負債を差し引いた正味資産（民間企業の「資本」に相当）は、3918億円（前年度比64億円の増）です。

これらを市民1人あたりに換算すると、資産は156万円、負債は68万円、正味資産は88万円となります。

《行政コスト計算書》

行政コスト計算書は、人的サービスや給付サービスといった資産の形成につながらない行政サービスの提供のために要したコスト（有形固定資産の減価償却費や市税等の不納欠損額、職員の退職給与引当金などの非現金支出を含む）と、その財源としての収入の状況などを表すものです。

平成15年度の行政コスト総額は1212億円（前年度比7億円の減）で、その内訳は扶助費等の「移転支出的なコスト」が433億円で最も多く、以下、人件費等の「人にかかるコスト」が356億円、物件費等の「物にかかるコスト」が341億円、「その他のコスト」が82億円となっています。

一方、収入は1262億円（前年度比27億円の減）で、国県支出金が194億円、使用料・手数料等が102億円、市税等の一般財源が966億円となっています。

行政コスト計算書（普通会計）

区分		平成14年度	平成15年度
行政コスト　A		1219億2054万円	1211億9037万円
人にかかるコスト		361億3398万円	355億4917万円
	人件費	339億7642万円	332億3886万円
	退職給与引当金繰入等	21億5756万円	23億1031万円
物にかかるコスト		344億1809万円	340億8304万円
	物件費	186億5506万円	179億3454万円
	維持補修費	21億3549万円	27億2821万円
	減価償却費	136億2754万円	134億2029万円
移転支出的なコスト		428億5350万円	433億3533万円
	扶助費	185億2903万円	210億5539万円
	補助費等	52億8279万円	50億1217万円
	繰出金	158億1226万円	152億6826万円
	普通建設事業費（他団体等への補助金等）	32億2942万円	19億9931万円
その他のコスト		85億1497万円	82億2283万円
	災害復旧事業費	1530万円	1490万円
	公債費（利子）	80億8655万円	74億6369万円
	不納欠損額	4億1312万円	7億4424万円
収入項目　B		1289億4996万円	1261億8018万円
使用料・手数料等		103億7077万円	101億5379万円
国県支出金		180億8221万円	194億 468万円
一般財源		1004億9698万円	966億2171万円
正味資産国県支出金償却額　C		38億7871万円	38億3186万円
差引一般財源等増減額　B＋C－A		109億 813万円	88億2167万円

バランスシート（普通会計）

借方	平成14年度末	平成15年度末	貸方	平成14年度末	平成15年度末
【資産の部】			【負債の部】		
1．有形固定資産			1．固定負債		
（1）総務費	175億4554万円	180億1726万円	（1）地方債	2415億 235万円	2209億5059万円
（2）民生費	79億4310万円	87億4631万円	（2）債務負担行為	185億 48万円	178億2812万円
（3）衛生費	479億4126万円	457億9437万円	（3）退職給与引当金	281億3776万円	272億7631万円
（4）労働費	3億9236万円	3億6700万円	（4）その他（預り敷金）	5億5646万円	5億5973万円
（5）農林水産費	102万円	68万円	固定負債合計	2886億9705万円	2666億1475万円
（6）商工費	2億5743万円	3億2295万円			
（7）土木費	4054億9658万円	4041億4467万円	2．流動負債		
（8）消防費	47億4051万円	45億4589万円	（1）地方債翌年度償還予定額	252億 995万円	358億4210万円
（9）教育費	1313億5678万円	1302億 947万円	（2）翌年度繰上充用金	0	0
（10）その他	77億5517万円	77億3679万円	流動負債合計	252億 995万円	358億4210万円
有形固定資産合計	6234億2975万円	6198億8539万円			
2．投資等			負債合計	3139億 700万円	3024億5685万円
（1）投資及び出資金	208億3841万円	213億9576万円			
（2）貸付金	197億 197万円	176億5210万円	【正味資産の部】		
（3）基金	148億4295万円	144億6587万円	1．国庫支出金	1475億4708万円	1452億 511万円
投資等合計	553億8333万円	535億1373万円	2．県支出金	46億7409万円	45億1467万円
			3．一般財源等	2331億6539万円	2420億9153万円
3．流動資産					
（1）現金・預金	92億8588万円	84億6029万円			
（2）未収金	111億9460万円	124億 875万円	正味資産合計	3853億8656万円	3918億1131万円
流動資産合計	204億8048万円	208億6904万円			
資産合計	6992億9356万円	6942億6816万円	負債・正味資産合計	6992億9356万円	6942億6816万円

公営企業の業務状況

○ 工業用水道事業 ○

	《15年度決算》	《14年度決算》
給水事業所数	50所	53所
1日契約水量	3万4776㎥	3万5892㎥
総配水量	723万5940㎥	694万2698㎥
1日平均配水量	1万9770㎥	1万9021㎥
事業収益	5億7689万円	6億6671万円
事業費用	5億7567万円	5億9285万円
	《16年度上半期》	《15年度上半期》
給水事業所数	48所	50所
1日契約水量	3万4626㎥	3万4776㎥
総配水量	361万7090㎥	358万3660㎥
1日平均配水量	1万9766㎥	1万9583㎥
事業収益	2億9529万円	3億1297万円
事業費用	3億 492万円	3億 963万円

○ 水道事業 ○

	《15年度決算》	《14年度決算》
給水戸数	20万3998戸	20万1235戸
給水人口	45万5842人	45万1701人
総配水量	5741万8820㎥	5872万2630㎥
1日平均配水量	15万6882㎥	16万 884㎥
事業収益	102億2138万円	107億6317万円
事業費用	100億9837万円	101億8481万円
	《16年度上半期》	《15年度上半期》
給水戸数	20万6116戸	20万3225戸
給水人口	45万9042人	45万5622人
総配水量	2938万7800㎥	2938万 470㎥
1日平均配水量	16万 589㎥	16万 549㎥
事業収益	52億3869万円	54億8866万円
事業費用	48億1392万円	49億3230万円

○ 中央病院事業 ○

	《15年度決算》	《14年度決算》
年間入院患者	8万8498人	9万 300人
1日平均入院患者	241.8人	247.4人
年間外来患者	21万4903人	22万 742人
1日平均外来患者	873.6人	901.0人
事業収益	61億 168万円	60億9080万円
事業費用	64億4041万円	66億 200万円
	《16年度上半期》	《15年度上半期》
延べ入院患者	4万2972人	4万3157人
1日平均入院患者	234.8人	235.8人
延べ外来患者	10万4598人	10万8907人
1日平均外来患者	843.5人	864.3人
事業収益	29億4991万円	29億5724万円
事業費用	29億8367万円	29億6926万円

市債、公有財産などの現在高

（平成16年9月30日現在）

《市債（借金）の現在高》

区分	金額
一般会計	2496億4055万円
特別会計（主として下水道事業）	1079億9747万円
合計	3576億3802万円

＊市民1人あたりに換算すると、77万8000円となります

《公有財産の状況》

区分	数量	評価額
土地	890万8649㎡	5423億4958万円
建物	160万 966㎡	2681億1336万円
有価証券など	—	122億2405万円
合計	—	8226億8699万円

《一時借入金等の状況》

借入金残額…47億円

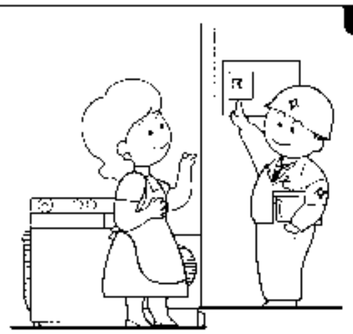
阪神米穀のお米
えべっさん
■本社　TEL.0798(26)0221(代表)

「お米の花」の命は短くて…

「お米の花」の命はたったの2時間というはかないもの。「お米の花」には花びらがなく、おしべとめしべが緑色の殻に包まれ、この殻が開いて10～20分経つと顔をのぞかせます。白く咲いて見えるのはおしべです。伸びたおしべが花粉を撒き、めしべについて受粉すると、殻はすぐに閉じてしまいます。受粉には、そよ風が吹く程度の天候が最適。台風等の影響で海岸からの塩水を含んだ風や強風のため、花が枯れると秋の収穫は見込めなくなってしまいます。短い命の「お米の花」は、おいしいお米作りの重大なポイントなのです。

阪神米穀は「おいしいごはんを食べよう県民・国民運動」を応援しています。

漏電遮断器を取り付けましょう



電気を安全に使いましょう。

主な業務

財団法人関西電気保安協会
http://www.esdh.or.jp
TEL 06(6882-3417)(代表)